

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	Ⓐ・B・C
	I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念、基本方針は民営化2年目の昨年に確立されたばかりではあるが、「自然を愛し未来を切り拓き逞しく育つ力を培います」と思いがこめられている。理念、基本方針は事業計画書にて明文化され、玄関、廊下、保育室など各所にも大きく掲示されている。また現在作成中のホームページでも周知を図ろうとするなど努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。		
	I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-1-(2)-② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念、基本方針は事業計画書に示され、各職員に配布した上、職員会議などでも思いや内容を説明している。具体的な方法については職員会議などで話し合うなどしている。</p> <p>利用者には、園内各所に大きく掲示することや、園だよりに記載するなど周知されている。</p> <p>現在作成中のホームページでも周知を図ろうとするなど努めている。また保護者の参加を土曜日にするなど、直接説明できる機会をつくり、一方的な書面による周知ではなく、コミュニケーション</p>		

<p>ョン強化を図っている。</p>
<p>改善できる点/改善方法：</p>

I-2 計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>中・長期にわたった計画に関しては、明文化された計画書はないものの、民営化3年目ということで園独自のビジョンが明確になってきており、現状課題なども把握されている。中・長期ビジョンを踏まえ、保育理念、保育基本方針に基づいた保育計画、年間計画を年度ごとに策定し、事業計画書として書面において職員への周知も図られている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
I-2-(2) 計画が適切に策定されている。		
	I-2-(2)-① 計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-② 計画が職員や利用者に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>各担当者での話し合い後、代表による会議で策定し、文書化して、職員会議の中で報告をしている。年度末には職員会議で次年度に向けての見直しを行っている。利用者に対しては、年間行事計画や園だよりへの掲載や園内の掲示を活用して周知、理解を促している。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・B・C
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>園長・理事長・施設長としての役割と責任について、組織図や掲示物などで明示化しているとともに、職員会議や職員面談等において表明している。また、法令遵守への取り組みについては、積極的に研修に参加するなど情報収集をし、得た内容を配布のみではなく、全職員が理解し、さらには行動に移せるような取り組みを行っている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
	I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	Ⓐ・B・C
	I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>保育サービスの質向上に関しては、アンケート調査を行うことで評価・分析を行い意欲的に取り組んでいる。また自己評価シートで自己分析をすることにより、自己を振り返り、更なるサービスの質向上を図るよい機会となっている。</p> <p>職員会議では職員が意見をいいやすいような雰囲気作りをするなど、業務の効率化と改善に向けた意見を取り込める体制となっている。さらなる業務の効率化と改善を図るためのより一層の組織体制の強化、リーダー育成に努められたい。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ－１ 経営状況の把握

Ⅱ－１－（１） 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者評価結果
	Ⅱ－１－（１）－① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－１－（１）－② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－１－（１）－③ 外部監査が実施されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育・福祉関係の動向については、園長自ら各種の情報収集に努め、全職員に周知を図っている。経営状況については、年４回行われる理事会にて話し合わせ、把握できている。会計士、社労士、司法書士の専門家による定期的な指導もあり、現状分析し課題把握への取り組みが行われている。岐阜市監査指導課とも密に連絡を取り合い、改善への取り組みに努められている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
	Ⅱ－２－（１）－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（１）－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ａ・Ⓑ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>人事については、常に定員増加を見越した人員配置がされており、正規職員は他園と比較し、多く配置している。各年齢別児童、障害児保育児童、長時間保育児童の状況に応じて職員配置がなされている。人事考課については、現在は1ヵ月毎に評価する自己評価シートに基づき実施している。考課をするための基準作りやその見直しなども社労士などの専門家指導の下、今後よりよい人事考課の構築に向けた取り組みを始めている。</p>		

改善できる点/改善方法： 評価基準の策定、評価者研修についても今後実施されることを提案したい。		
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（２）－② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点/工夫されている点： 一般的な基準より多く人員を配置していることにより、職員も有給休暇を使用しやすい上、消化状況をチェックし、休みを取っていない職員にはきちんと取るよう声をかけるなど配慮している。看護師をカウンセラーとして配置し、心身の健康管理など相談できる体制となっている。福利厚生事業センターに加入したり、共済会を通してサービスを提供するなど、気軽に利用できる体制である。		
改善できる点/改善方法：		
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
	Ⅱ－２－（３）－①職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（３）－② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（３）－③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点/工夫されている点： 毎年策定されている事業計画の中で研修に関する基本姿勢を示している。職員の質向上のため、どの職員に対しても積極的に各種研修に参加するような体制となっている。また組織全体の研修計画に加え個人ごとに年間の研修計画も策定されている。 参加した研修についてはレポートの提出、回覧により職員全体に周知し、内容を共有するようしており、実際の保育業務に反映させる取組みを行なっている。		

改善できる点/改善方法：		
Ⅱ－２－（４） 実習生の受け入れが適切に行われている。		第三者評価結果
Ⅱ－２－（４）－① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。		Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（４）－② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点/工夫されている点：		
<p>毎年策定される事業計画書においても実習生の受入に対する基本的な姿勢が明確にされており、実習生受入マニュアルの整備もされ、それに沿って積極的に行われている。実習は連携校の実習プログラムに基づきすすめられており、担当の指導員が育成に取り組んでいる。実習指導者には経験豊富な職員を担当するなど、実習生の将来を考慮し、育成に努めている。</p>		
改善できる点/改善方法：		

Ⅱ－３ 安全管理

Ⅱ－３－（１） 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		第三者評価結果
Ⅱ－３－（１）－① 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。		Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－３－（１）－② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。		Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点/工夫されている点：		
<p>事故発生対応マニュアル、安全管理マニュアル、ヒヤリハット事故防止マニュアルなどが整備されており、それらに基づき職員が研修できるよう年間計画を立て、実施され職員の安全管理に対する意識を高めている。また、事故防止のチェックリストにより、危険箇所の把握、改善にも取り組んでいる。事故発生など緊急時には、メール配信システムを利用して保護者への連絡が即座にできるような体制となっている。</p>		

改善できる点／改善方法：

Ⅱ－４ 地域との交流と連携

Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
	Ⅱ－４－（１）－① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（１）－② 事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（１）－③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>元気子育てサロン事業による、子育て相談、園庭解放、図書貸出を実施している。プチＺＯＯ、観劇、七夕会、クリスマス会、誕生会など、さまざまな園の行事に地域の方が参加できるしくみをとっている。行事とは別にふれあい交流を目的とした保育を計画し、毎月、地域の方にお便りを配布し周知している。園の行事に参加していただくだけでなく、文化祭や梅林フェスティバルなど自治会の行事へも参加し、積極的に地域との関わりをもつよう努められている。</p> <p>園の機能の地域還元については、災害時に園舎を避難場所として提供しており、夜中の発生時にも対応できる体制をとっている。ボランティアの受け入れについては、特にマニュアルは作成されていないものの、中学生の体験学習など、地域の方の申し出を積極的に受け入れる体制となっている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		
	Ⅱ－４－（２）－① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（２）－② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園の役割や機能を達成し、保育サービスの質を向上させるために必要な社会資源（医療機関、児童相談所、民生委員、児童委員など）は、明確にされている。また場面ごとでの的確な関係機関</p>		

との連携ができるよう、具体的にマニュアルにも明示されている。虐待児、生活保護家庭などの見守りにも十分な連携体制が整備されている。その他にも地域の公民館委員になるなど、定期的な会議にも出席し積極的に情報交換や課題の検討に加わっている。	
改善できる点/改善方法：	
Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	第三者評価結果
Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点/工夫されている点： 民生・児童委員、自治会、老人クラブ等地域の関係団体からの情報交流により地域の子育てニーズの把握に努めている。元気子育てサロン事業・一時保育事業を実施するほか、未就園児とのふれあい交流など、地域の親子で行事に参加していただく等様々な活動がおこなわれている。また毎年行われている地域の文化祭に作品提供、自治会のコミュニティバスの絵画提供、梅林フェスティバルの園児の遊戯など地域のニーズに対応している。	
改善できる点/改善方法：	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位のサービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	第三者評価結果
Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点/工夫されている点： 「自然を愛し未来を切り拓き逞しく育つ力を培います」という理念の下、保育の基本姿勢が基本	

<p>方針や保育課程の中で明示されている。それを踏まえて保育計画、指導計画を作成、未満児は個別の指導計画により保育を実施している。月1回職員で昼ミーティングを行い、子供の状況を担任だけでなく全職員で見守っていけるよう共通理解に努められている。</p> <p>プライバシー保護に関しては、マニュアルが整備され、プライバシー保護に努められている。重要書類が入ったロッカーは施錠されており、採用時には研修にて説明し、誓約書をとるなど情報管理を徹底している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－１－（２） 利用者満足の上昇に努めている。</p>	
<p>Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－１－（２）－② 利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>意見箱を設置し、保護者から意見や要望を聞く体制は整っている。実際は意見箱の活用というよりも、職員自らが積極的な保護者とのコミュニケーションを図ることで、保護者が直接相談や意見を言いやすい環境となっている。それは保護者の聞き取り調査からも職員との話しやすさを伺うことができた。また行事ごとのアンケート結果を集約し、保護者の意向やニーズの把握に努め、個別に対応できるものについては個別に伝え、園全体に係る課題・要望については職員会議にて改善策を協議し、その結果についても保護者にフィードバックしている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>	
<p>Ⅲ－１－（３）－①利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－１－（３）－②苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－１－（３）－③利用者からの意見等に対して迅速に対応している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>苦情解決の仕組みについての掲示と意見箱が玄関2か所に設置されている。意見箱は保護者の方</p>	

<p>が意見を述べやすいよう、「みんなの声ポスト」と名称を変えるなど工夫されている。それ以上に、職員各自が日々、信頼関係が築けるよう世間話、子どもの様子を伝えるなど保護者とのコミュニケーションを欠かさないようにし、相談しやすい雰囲気作りを心掛けている。</p> <p>保護者からの意見等の対応については、保護者対応マニュアルに沿って対応している。保護者からの意見があったときは、まずは園長に報告をし、その後職員会議で話し合いすぐに対応できる体制となっている。</p>
<p>改善できる点/改善方法：</p>

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	第三者評価結果
Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（１）－② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（１）－③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>第三者評価など外部評価を積極的に取り入れるなど、サービスの質向上に向けての取り組みは組織的に行われている。自己評価も毎月実施しており、保育サービスの質の向上を図っている。</p> <p>行事ごとの評価や反省は職員会議にて課題を共有し、議事録にも残し明確にしている。職員会議において改善策を協議し、見直しが行われている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
Ⅲ－２－（２） 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。	第三者評価結果
Ⅲ－２－（２）－① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

<p>Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 保育指針に基づき、年齢別の保育課程、個別指導案を文書化している。個々の記録については保育場面に応じて記入している。子ども一人一人の発達状況を把握し、その子に合ったきめ細やかな対応に心がけている。 保育課程については目標が細かく記載されており、一時預かり・延長・長時間保育・子育てサロン事業・障害児保育・乳児保育と個々のサービスについてきちんと文書化され、サービスが実施されている。各計画については定期的、あるいは必要時に見直しが行われている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。</p>	
<p>Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－２－（３）－③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： サービス実施の記録が適切に行われており、複数担任でもしっかり共通理解を図っている。園全体で対応が必要な場合は職員会議で伝えるなど、情報共有されている。一人一人の子どもの発達状況が記録をとることで見えてくることが多く、指導の方向性も理解できるので職員への研修・指導もその都度行われている。記録の管理体制については担当者が責任をもって管理をしている。また個人情報の管理についても職員周知の徹底を図り、常に意識づけを行っている。毎月１回気になる子・注意する子・全職員が見守って欲しい子などケース会議をもち情報を共有し、担任以外でも対応できる体制となっている。</p>	

改善できる点/改善方法：

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－３－（１）－① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A・ Ⓐ ・C
	Ⅲ－３－（１）－② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>利用希望者に対するサービス選択のための情報提供としては、元気子育てサロン事業による子育て相談や園庭解放などを通して園を広く案内している。またホームページについては、梅林保育園独自のものを作成しているところである。その他にも近隣に看板を設置するなど地域にも保育園の存在を広報している。入園希望者に対しては、園内を説明しながら案内したり、資料をもとに説明している。入園時には入園案内、入園に際しての文書を保護者に渡して説明を行っている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p> <p>現在作成中のホームページでは、ただ掲載するのではなく適宜利用者のニーズを把握し、利用者の求める情報を公開することなどに期待したい。またパンフレットについてもホームページを使用しない方のためにも作成しておくことも望ましい。</p>		
Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
	Ⅲ－３－（２）－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>転所児童については転所先へ子どもの保育記録などを渡し、スムーズにサービスの継続ができるよう対応している。保育修了後の相談は、卒園時に相談方法、受付窓口などを口頭で説明をする</p>		

体制を整えている。
改善できる点／改善方法：

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。	第三者評価結果
Ⅲ－４－（１）－①定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－４－（１）－②利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもの身体状況や、生活状況等を正確に把握するために、岐阜市から提供されている様式に基づき、把握、記録を行っている。また、定期健康診断、発育測定の結果、一人一人のニーズ・課題を児童票、又、個別記録をとおして具体的に明示し、把握しており、個別指導案に基づいた保育がされている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>毎年、岐阜市保育事業室より保育指導員が派遣されサービスの方向性、内容について指導がある。また岐阜市監査指導室より監査を受け、サービスが正しく実施されているかの評価を受けている。その評価を受け日誌、週案、月案、年案等で評価を行い・PDCAサイクルを意識した見直しも組織的に行っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	